

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法

直接法による定率法で減価償却を実施しています。
但し、建物の一部は定額法で減価償却を実施しています。

(2)引当金の計上基準

退職給付引当金は、年度末の退職給付に基づき、当期末に発生していると認められる金額を計上しています。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算しています。

(3)消費税等の会計処理

消費税込額で表示しています。

2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	5,216,792	0	0	5,216,792
小 計	5,216,792	0	0	5,216,792
特定資産				
周年行事引当資産	4,803,733	150,000	0	4,953,733
減価償却引当資産	120,973,540	10,000,000	0	130,973,540
退職給付引当資産	14,579,500	490,500	11,935,000	3,135,000
預り保証金積立資産	3,240,000	0	0	3,240,000
小 計	143,596,773	10,640,500	11,935,000	142,302,273

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財 産からの充当額	うち一般正味財 産からの充当額	うち負債に対応 する額
基本財産				
土地	5,216,792	0	5,216,792	0
小 計	5,216,792	0	5,216,792	0
特定資産				
周年行事引当資産	4,953,733	0	4,953,733	0
減価償却引当資産	130,973,540	0	130,973,540	0
退職給付引当資産	3,135,000	0	0	3,135,000
預り保証金積立資産	3,240,000	0	0	3,240,000
小 計	142,302,273	0	135,927,273	6,375,000

4.引当金の明細

引当金の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	14,579,500	490,500	11,935,000	0	3,135,000
預り保証金引当金	3,240,000	0	0	0	3,240,000

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	110,127,795	82,916,563	27,211,232
建物附属設備	50,377,400	47,413,479	2,963,921
什器備品	9,291,280	9,276,746	14,534
合計	169,796,475	139,606,788	30,189,687

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	B/S記載区分
補助金	一般社団法人 神奈川県法人会連合会	0	1,727,571	1,727,571	0	
助成金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	17,258,600	17,258,600	0	
補助金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	256,000	256,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	17,258,600
公益財団法人全国法人会総連合助成金指定目的支出による振替	17,258,600
経常外収益への振替額	0
合計	17,258,600

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりです。

種類	法人等の名称、氏名	住所	関係内容 事実上の関係	取引の内容	取引金額 (単位:円)
印刷 製本費他	(株)さんこうどう 川上 彰久	神奈川県藤沢市 本町1-3-33	理事、会長	会報の印刷代、 封筒の印刷代他	3,540,592

附属明細書

基本財産及び特定資産の明細、引当金の明細につきましては、上記財務諸表の注記と内容が同じのため記載は省略します。